

(大阪会場)

趣 旨

「経済財政運営と改革の基本方針 2018」(骨太の方針)が閣議決定されました。少子高齢化による労働力不足の解消に向けて、生産性の向上や国内人材確保の取り組みを推進するとともに、外国人材の受け入れを拡大するために新たな在留資格を創設することが明記されており、介護はその新資格が導入される分野のひとつと想定されています。また、ケアプラン作成や軽度者への生活援助サービスについては、給付の在り方を検討するという記載があり、今後も継続して議論される見込です。

平成 30 年度制度改正・報酬改定の内容や今後の方向性を正しく理解し、制度や訪問介護を取巻く状況に対応した事業を展開するとともに、制度に左右されることのない経営と人財の育成や業務効率化といった運営体制の整備が、今迄以上に重要となります。

そこで、訪問介護事業所として今後も生き残るためのポイントとヒントについて、別紙プログラムのとおり企画いたしました。本研修セミナーが、一步先んじた今後の事業展開と介護活動に必ずやお役に立つものと思っております。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

記

日 程

第 1 日 目 . . . 平成 30 年 9 月 19 日 (水)
 第 2 日 目 . . . 平成 30 年 9 月 20 日 (木)
 第 3 日 目 . . . 平成 30 年 9 月 21 日 (金)

会 場

「天満研修センター」

《所在地》 大阪市北区錦町2-21

《交 通》 JR環状線「天満駅」下車 徒歩約2分

地下鉄堺筋線「扇町駅」下車 徒歩約7分

地下鉄谷町線「天神橋筋六丁目駅」下車 徒歩約 10 分

受講対象者

1日目 経営者(管理者)及びサービス提供責任者 . . . 定員 80 名
 2・3日目 サービス提供責任者 . . . 定員 50 名

受講料(税込)

		社福協会員	一般の方	昼食は各自で ご用意ください
(1)	1日目、2日目、3日目のみ	¥ 7,000	¥ 10,000	
(2)	2日間	¥ 14,000	¥ 20,000	
(3)	3日間	¥ 21,000	¥ 30,000	

※ 新たに社福協会員への入会をご希望の方は、入会金 2,000 円のみ(年会費無料)で今回のセミナーからすぐに会員価格で受講することができます。

※ 社福協会員は、当協会主催のセミナー・スキルアップ講座等を会員価格で受講できるほか、会報誌「季刊へるば！」を無料で購読できます。

※ 受講後は修了証を交付いたします。

申込方法

受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX にてお申込下さい。受講料の振込案内をお送りいたしますので、指定期日までにお振込をお願いします。なお、キャンセルなされる場合は前日までに必ずご連絡下さい。ご連絡がない時は受講料をお返しできません。(なお、入会金についてはご返金いたしません)

主 催

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 (略称：社福協)

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-11 第11東洋海事ビル 4F

TEL 03-3595-1555 FAX 03-3595-1559

http://www.helpa.jp/ で

【サービス提供責任者研修セミナー プログラム】

開催日

- 第1日目 . . . 平成30年9月19日（水）
 第2日目 . . . 平成30年9月20日（木）
 第3日目 . . . 平成30年9月21日（金）

時間割

日程	時間	内容・講師
第1日 (9/19)	9:30～	受付
	9:50～10:00	オリエンテーション
	10:00～12:00	①平成30年度法改正から考える訪問介護の方向性 ～重度化防止の実現をめざして～ 〔講師：青木 文江氏（日本ホームヘルパー協会 会長）〕
	12:00～13:00	昼食
	13:00～14:30	②日本における外国人介護人材について 〔講師：安里 和晃氏（京都大学大学院 文学研究科 准教授）〕
	14:50～16:20	③訪問介護事業所における業務効率化とICT活用 〔講師：松下 洋三氏（㈱ライフサービス 代表取締役／全国介護事業者協議会 理事）〕
	16:20～16:30	終了
第2日 (9/20)	9:00～	受付
	9:30～16:30	④訪問介護計画の作成演習 〔講師：柴田 範子氏（NPO法人楽 理事長／前 東洋大学 准教授）〕 ICFの考え方がケアマネジメントに導入され、ケアプランの作成に当たってはポジティブに表現することが求められています。訪問介護計画の作成においても、その利用者のできることに注目し、生活に喜びがもてる支援が必要とされます。今後は生活全体を視たアセスメント力・評価力が一層求められます。グループ演習によって個別援助計画作成のポイントを学びます。
	16:30～16:40	終了
第3日 (9/21)	9:00～	受付
	9:30～16:30	⑤介護記録の実践的書き方 〔講師：大崎 千秋氏（名古屋柳城短期大学 介護福祉専攻 准教授）〕 日々の的確な記録は利用者に関わるチームの情報共有、また他職種との連携において大変重要な意味を持ちます。記録は見えない介護を可視化し、介護過程に基づいたケアの根拠を明らかにすることによって、介護の効果を図ることもつながります。記録をつける能力はサービス提供責任者をはじめ介護職全員が身につけるべきスキルのひとつと言えます。誰にでもわかる記録の書き方やポイント、ICFに基づいた記録の方法など、グループ演習により実践的に学びます。
	16:30～16:40	終了

※諸事情により講師、テーマ等は変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。

